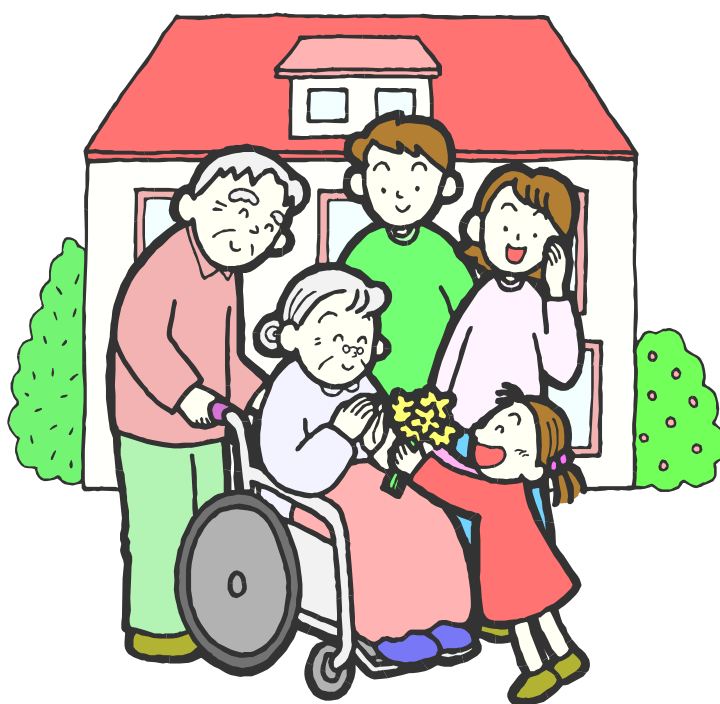


---

# 仙北市老人福祉施設整備計画

---

～ 安心して暮らせる環境づくり ～



平成19年度

秋田県仙北市

# 目 次

## 第1章 計画策定の趣旨

- 1. 計画策定の趣旨 1
- 2. 計画の性格・関連計画との位置づけ 1
- 3. 計画の概要と構成 3
  - 計画の概要 3
  - 計画の構成 3

## 第2章 計画の基本的な考え方

- 1. 基本理念 5
- 2. 基本方針 5

## 第3章 施設をとりまく現状

- 1. 地域支援の福祉サービスの現状 7
  - 安心して暮らせる社会環境 7
  - 保健・医療・福祉サービス 9
  - 生きがいづくりを支援する環境 10
- 2. 介護予防の福祉サービスの現状 11
- 3. 居宅サービス提供事業所の現状 13
- 4. 老人福祉施設等の現状 20

## 第4章 計画推進の基本数値

- 1. 仙北市の人口推計と高齢者人口 24
- 2. 要支援・要介護認定者数の推計 25
- 3. 施設・居宅系サービス利用者の推計 26
- 4. 居宅サービス利用者数の推計 27

## 第5章 老人福祉施設整備の課題

- 1. 介護予防を推進するための福祉サービスの課題 28
- 2. 在宅介護を支援するための施設整備 30
- 3. 施設介護を充実させるための施設整備 31

## 第6章 課題解決のために

- 1. 在宅福祉及び施設運営の効率化 35
- 2. 地域の実情にあった在宅福祉及び施設運営等 36

- 検討委員名簿 38

# 第1章 計画策定の趣旨

## 1. 計画策定の趣旨

国では、介護が必要となった高齢者を社会全体で支えていくため、介護保険制度が平成12年度からスタートしました。介護サービスの利用者も年々増加しています。それに伴いサービスの内容も多様化してきましたが、一方では、サービスの質的向上や時代に即した施設整備の充実強化も求められています。

本市においても同様の状況にあります。中でも高齢化率は31.5%、要介護率も18.2%と、ともに県内でも平均値より高い数値となっています。

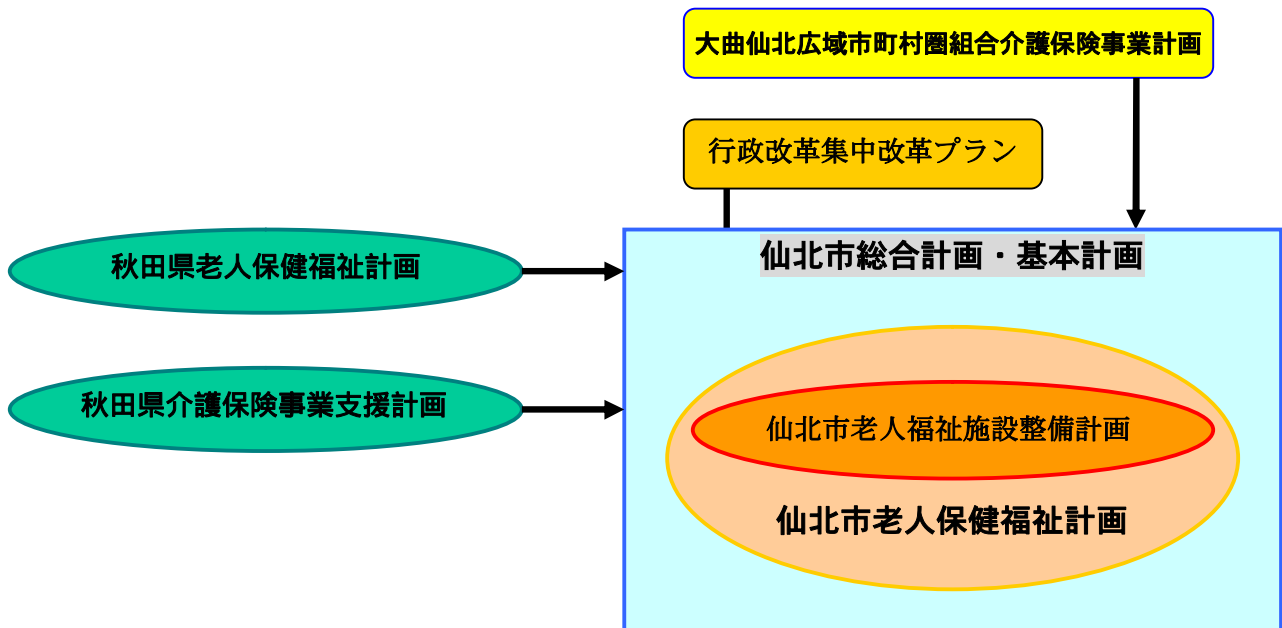
そのような現状を踏まえ、本市の高齢者を対象とした社会的な生活支援の現状を調査し、各種資料から人口動態などの将来予測を行い、それらデータを基に抱える課題を抽出し、解決のための問題提起と手立てを検討するために、「仙北市老人福祉施設整備計画」を策定することにしました。

## 2. 計画の性格・関連計画との位置づけ

本計画は、「仙北市総合計画」やその他関係する各種計画との整合性を図り、市がめざす基本的な政策理念とその実現に向けて、取り組むべき課題を明らかにしていくことを目指し、平成20年度に策定予定の第4期仙北市老人保健福祉計画（計画年次/平成21年度～23年度）の中で、具体的な施策の形として示していくことを想定しています。

なお、同じ計画年次で第4期大曲仙北広域市町村圏組合介護保険事業計画の策定も予定されていることから、その中へも反映されることを期待するものであります。

◇ 仙北市老人福祉施設整備事業計画等関係図 ◇



- |          |                      |                            |
|----------|----------------------|----------------------------|
| 平成18年12月 | 仙北市総合計画 基本計画         | 「観光産業を活かした北東北の交流拠点都市をめざして」 |
| 平成18年3月  | 仙北市老人保健福祉計画          | 「安心して暮らせる環境づくり」            |
| 平成18年3月  | 大曲仙北広域市町村圏組合介護保険事業計画 | 「住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり」    |
| 平成18年4月  | 秋田県老人保健福祉計画          | 「みんなが安心して活躍できる健康長寿社会の実現」   |
| 平成18年4月  | 秋田県介護保険事業支援計画        | 「みんなが安心して活躍できる健康長寿社会の実現」   |

### 3 . 計画の概要と構成

#### 計画の概要

本計画の策定にあたり、市内において高齢者向けの生活支援サービスなどの現状を調査するために、老人福祉施設や介護保険事業者などの実態調査や居宅介護サービスなどの利用状況について、アンケートを行ないました。

アンケートによる現状の調査・分析を踏まえ、高齢者福祉の現場に携わっている保健師、介護支援専門員、施設の相談員などで構成する計画策定に向けての作業部会(3回)を開催し、意見や検討を重ねた結果を基に計画案をまとめました。

さらに、関係する行政機関、民間事業者や市民の方たちから意見を聴くための検討委員会(2回開催)を経て、成案としてまとめたものです。

策定作業の中で、高齢者福祉に係わる施設整備のハード面の充実や必要性など大きな課題が見えてきました。今後、介護予防や在宅福祉サービス面の重要性が、ますます高まってきていることが再確認されました。

本計画の編成にあたっては、そのような現状認識の結果として、介護予防や在宅福祉サービスなどに係わる部分に、大きなスペースを割いてまとめています。

#### 計画の構成

仙北市老人福祉施設整備計画は、すべての高齢者を対象とし、老人福祉施設及び環境等を整備し、また在宅福祉の充実を図り官民一体の福祉サービスを展開するための指針となることを目指しています。

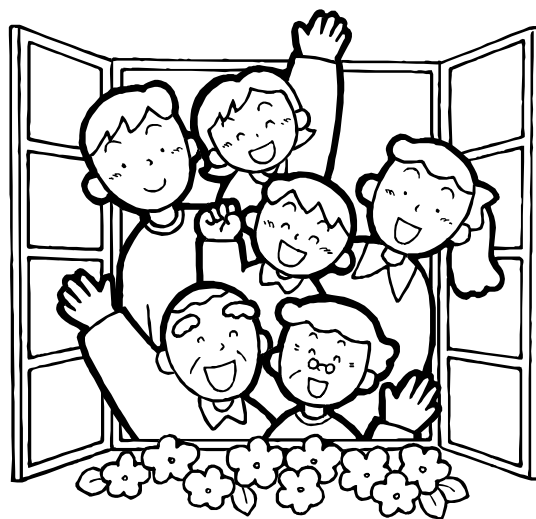
第2章では計画の基本的な考え方として、「仙北市総合計画」「仙北市老人保健福祉計画」に内包されるとともに「秋田県老人保健福祉計画」「秋田県介護保険事業支援計画」その他の関連計画との適合性を図り基本目標をあげています。

第3章ではアンケート調査を行った結果を基に既存施設の現状を取りあげています。

第4章では計画推進の基本数値として、「大曲仙北広域市町村圏組合介護保険事業計画」に記載されている大仙市、仙北市、美郷町のうち、仙北市分を抜き出し推計したものです。

第5章では、老人福祉施設整備の課題を掲げ、既存施設の福祉サービスの充実及び在宅福祉サービスの充実を図ることを目的に現状、課題また今後の方向性を推測したものです。

第6章は計画達成のために、施設運営の効率化を探り、より良い施設運営をする為の提案を示したものです。



## 第2章 計画の基本的な考え方

### 1. 基本理念

仙北市総合計画では、まちづくりの四つの基本理念の一つとして「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を掲げ、また、仙北市老人保健福祉計画の中でも「安心して暮らせる環境づくり」が、基本理念として掲げられています。

秋田県の「第3期 秋田県介護保険事業支援計画」及び「第4期 秋田県老人保健福祉計画」の中では「みんなが安心して活躍できる健康長寿の社会の実現」が、基本理念として掲げられています。そして、大曲仙北広域市町村圏組合第3期介護保険事業計画の中でも「住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり」が、基本理念となっています。いずれも、「安心して暮らせる」ことが重要なキーワードになっています。

在宅介護サービスを利用したり、施設入所したりする中で、「安心して暮らせる」環境を実現するための施設整備を計画します。

### 2. 基本方針

「安心して暮らせる」ためには、様々な要件が考えられますが、高齢者の方たちが要介護状態になることをできる限り防ぎ、要介護状態であってもそれ以上悪化しないようにすることが重要になります。そのためには、いろいろな形の支援や介護が必要となります。

それを福祉施設整備の観点から「安心して暮らせる」様々な要件を満たすため、次の三つの項目を重点的に具体化することに努めます。

#### 【介護予防を推進するための施設整備】

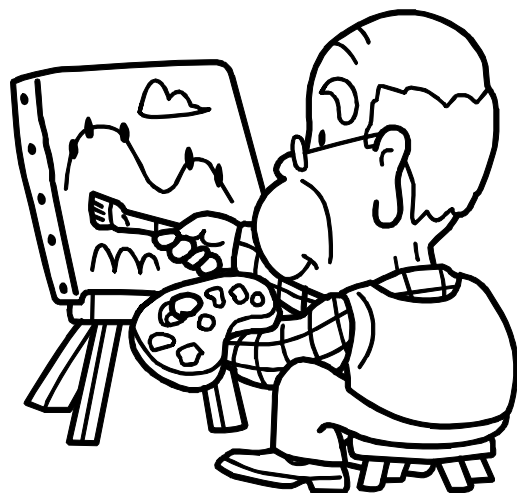
- ・要支援や要介護になる恐れのある潜在層の高齢者が、介護などの支援が必要になるまでの期間を出来るだけ長く保つことが可能なサービスを提供し、介護予防への取組みを進めます。

### 【在宅介護を支援するための施設整備】

- ・身体機能が低下しても、可能な限り地域社会で家族や隣人と暮らしていくことを望んでいる高齢者のため、在宅生活を支援していく福祉サービスを充実します。
- ・介護を受ける高齢者の希望や介護する家族の負担を軽減することで、より良い在宅介護の普及を図ります。

### 【施設介護を充実させるための施設整備】

- ・高齢者の多くは身体が不自由になり介護が必要な状態になっても、できるだけ住み慣れた家庭や地域社会で暮らしたいと希望しています。後期高齢者になり要介護度が高くなれば在宅生活が困難になるため、施設に入所の必要性が高まってきますが、生活環境の急激な変化による不安を感じさせないような環境づくりを行います。



## 第3章 施設をとりまく現状

### 1. 地域支援の福祉サービスの現状

高齢者ができるだけ介護が必要にならないため、また元気な高齢者を増やすために健康増進事業としてのサービスを実施しています。

#### 安心して暮らせる社会環境

##### (1) 自立支援通所事業（自立のデイ）

介護予防のためにデイサービスセンター等において、介護保険の対象とならない概ね65歳以上の方を対象に、日常生活動作訓練、給食、入浴等行っています。

(H18年度実績)

名 称	利用者数
仙北市多世代交流施設「山鳩館」	27名

##### (2) 生活管理指導員派遣事業（自立のヘルパー）

介護予防のため要介護認定の結果、非該当と認定された65歳以上の方の居宅に日常生活の指導・支援を行うホームヘルパーの派遣を行っています。

(H18年度実績)

名 称	利用者数
仙北市包括支援センター（仙北市社会福祉協議会へ委託）	6名

##### (3) 生活管理指導者短期宿泊事業（自立のショート）

緊急に利用しなければならない理由がある概ね65歳以上の介護保険の対象となっていない方に対して特別養護老人ホームでショートステイを行い、日常生活の指導や体調管理を行っています。

(H18年度実績)

名 称	利用者数
仙北市包括支援センター（特養 たざわこ清眺苑へ委託）	0名

##### (4) 配食サービス事業（ひとり暮らし弁当）

ひとり暮らしの高齢者に対して、月に1回弁当を配布し、食の楽しみの提供と安否確認を行っています。

(H18年度実績)

名 称	利用者数
仙北市包括支援センター（仙北市社会福祉協議会へ委託）	409名

**(5) 緊急通報体制等整備事業(ふれあい安心電話)**

概ね65歳以上のひとり暮らし、高齢者世帯及び身体障害者のみの世帯に対して、緊急通報装置を設置(貸与)して緊急時の対応を図っています。

(H18年度実績)

名 称	利用者数
仙北市福祉事務所(仙北市社会福祉協議会へ委託)	120名

**(6) 高齢者住宅整備貸付事業**

65歳以上の高齢者と同居する方で、高齢者専用居室の増改築に対して1戸あたり150万円まで資金を貸し付けしています。

(H18年度実績)

名 称	利用者数
仙北市福祉事務所	24名

**(7) 高齢者共同生活支援事業**

家庭の事情により養護を必要とする高齢者を冬期間施設において養護することにより、高齢者及びその家族の日常生活を支援しています。

(H18年度実績)

名 称	利用者数
仙北市福祉事務所(特養 清流苑へ委託)	7名

**(8) 外出支援サービス事業**

老衰、病弱、傷病及び障害等により下肢が不自由な方や、寝たきりとなっている要援護高齢者の方、または障害者の方など一般の交通機関の利用が不能な方に対して、医療機関や福祉サービスを提供する場所等への移動手段として移送用車両による外出サービスを行っています。

(H18年度実績)

名 称	利用者数
仙北市福祉事務所(仙北市社会福祉協議会へ委託)	303名

**(9) 家族介護教室**

在宅で寝たきり等の高齢者の方を介護している家族に対し、介護方法や介護に関する効果的な記録方法、介護予防、介護者の健康づくり等について知識、技術を習得するための教室を開催しています。

(H18年度実績)

名 称	利用者数
仙北市包括支援センター(仙北市社会福祉協議会へ委託)	47名

#### (10) 家族介護交流事業

介護から一時的に開放し、宿泊、日帰り旅行、施設見学等を実施し介護者の心身のリフレッシュを図る事業を行っています。

(H18 年度実績)

名 称	利用者数
仙北市包括支援センター（仙北市社会福祉協議会へ委託）	55名

#### (11) 家族介護慰労事業

仙北市に住所を有し、市民税非課税世帯の高齢者で、介護保険法による要介護4または5と認定された日の属する月の翌日から1年間介護給付を受けない方を対象とし、介護している家族の方に対し、家族介護慰労金を支給する事業を行っています。

(H18 年度実績)

名 称	利用者数
仙北市包括支援センター	0名

### 保健・医療・福祉サービス

#### (1) 健康相談

市内各地域に保健師が出向き、血圧測定や健康講話、体操の指導などを行っています。

(H18 年度実績)

名 称	実施回数
仙北市市民福祉部 保健課	213回

#### (2) インフルエンザ予防事業

65歳以上のインフルエンザ予防接種者に対し、1,000円を助成し、健康の増進を行っています。

(H18 年度実績)

名 称	利用者数
仙北市市民福祉部 保健課	4,701名

#### (3) 健(検)診事業

70歳以上のがん検診等の検診料金の一部自己負担を無料とし、病気の早期発見する事業を行っています。

(H18 年度実績)

名 称	利用者数
仙北市市民福祉部 保健課	1,847名

## 生きがいづくりを支援する環境

### (1) 老人クラブ活動支援

高齢者自らの生きがいを高め健康づくりを進める活動や、ボランティア活動をはじめとした地域を豊かにする各種活動をしている老人クラブに対して補助金を交付し、活動を支援しています。

(H19.4.1 現在)

名 称	単位クラブ数
仙北市福祉事務所 長寿子育て課	50クラブ

### (2) シルバー人材センター

定年退職者などの高齢者に、そのライフスタイルに合わせた「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な就業」を提供するとともに、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通じて、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上と、活性化に貢献しています。

(H19.4.1 現在)

名 称	登録会員数
仙北市シルバー人材センター	410名



## 2. 介護予防の福祉サービスの現状

高齢者が介護を必要としない生活をおくるため、また元気な高齢者を増やすために健康増進事業や介護予防事業としてのサービスを実施しています。

### (1) 運動器の機能向上

#### ・さわやか教室（一般高齢者施策）

「体に衰えを感じる」、「歩くことが億劫になった」、「外出の機会が減った」等と感じている65歳以上の方の不安を解消するために、仲間と一緒に元気になるための教室を3地区で実施しています。

#### ・高齢者の健康づくり教室（一般高齢者施策）

市内の老人クラブの集まりで、教室を希望するところで体操や栄養について楽しく学ぶ教室を5回シリーズで実施しています。

#### ・生き生き元気アップ教室

ストレッチや筋力トレーニングを通じて、立つ・座る・歩く・階段昇降などの生活機能向上を目的に実施しています。

(H18年度実績)

名 称	利用者数
仙北市包括支援センター	1,579名

### (2) 栄養改善

管理栄養士による小グループの栄養相談や栄養教室の開催を通じて、低栄養状態の予防と改善を目的に実施しています。

(H18年度実績)

名 称	利用者数
仙北市包括支援センター	22名

### (3) 口腔機能の向上

呼吸法や体操、嚥下訓練などを通じて、口腔機能の向上を目的に実施しています。

(H18年度実績)

名 称	利用者数
仙北市包括支援センター	59名

#### (4) 閉じこもり予防・支援

高齢ボランティアの養成、通所サービスやイベントの紹介・勧誘、保健師等による訪問などを通じて、閉じこもり予防を実施しています。

(H18年度実績)

名 称	利用者数
仙北市包括支援センター	1,039名

#### (5) うつ予防・支援

多くの機会を活用してうつの評価を行い、うつの可能性が疑われた高齢者を「心の健康相談」などの機関につなぐとともに、適切な支援を行って、重症化予防を実施しています。

(H18年度実績)

名 称	利用者数
仙北市包括支援センター	150名

#### (6) 介護予防支援事業

包括支援センターの職員が中心となって、介護予防プランを作成するほか、利用者が安心して、介護予防サービスを利用できるための支援を実施しています。

(H18年度実績)

名 称	利用者数
仙北市包括支援センター	0名

平成19年度から開始

#### (7) その他

介護予防訪問介護(ホームヘルプ)・介護予防訪問入浴介護・介護予防訪問リハビリテーション・介護予防居宅療養管理指導・介護予防訪問看護・介護予防通所介護(デイサービス)・介護予防通所リハビリテーション・介護予防特定施設入居者生活介護・介護予防短期入所生活介護(ショートステイ)・介護予防短期入所療養介護(ショートステイ)・介護予防福祉用具貸与・特定介護予防福祉用具販売を実施しています。

### 3. 居宅サービス提供事業所の現状

在宅でサービスを受けられるように各種の事業所が整備されています。

#### (1) 短期入所生活介護（短期入所）

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム等）で、一時的に在宅での生活に支障のある要支援・要介護者を短期的に受け入れて、入浴、排泄、食事等の介護や機能訓練を提供する短期入所生活介護を行っています。

短期入所サービス専用床は、特別養護老人ホームへ併設されているほか、単独型の施設も設置されています。

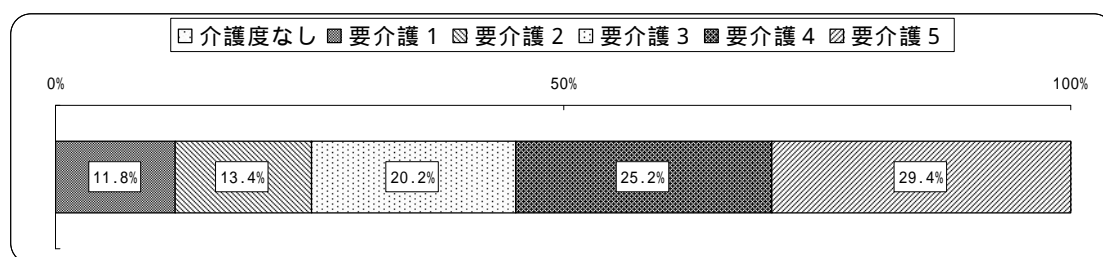
(H19.4.1 現在)

名 称	定員
仙北市かくのだて桜苑短期入所生活介護事業所	16名
仙北市田沢湖短期入所生活介護事業所	8名
ショートステイ若杉	37名
ショートステイひだまり	20名
特別養護老人ホーム清流苑	10名

#### 介護度別入所状況

(H19.4.1 現在)

介護度なし	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
0人	14人	16人	24人	30人	35人	119人



また、介護老人保健施設（老人保健施設）等においても、同様の理由で病状が安定期にあり一時的に入所を必要とする在宅の要介護者を短期間受け入れて、看護、医学的管理の下で介護、機能訓練などの短期入所療養介護を行っています。

(H19.4.1 現在)

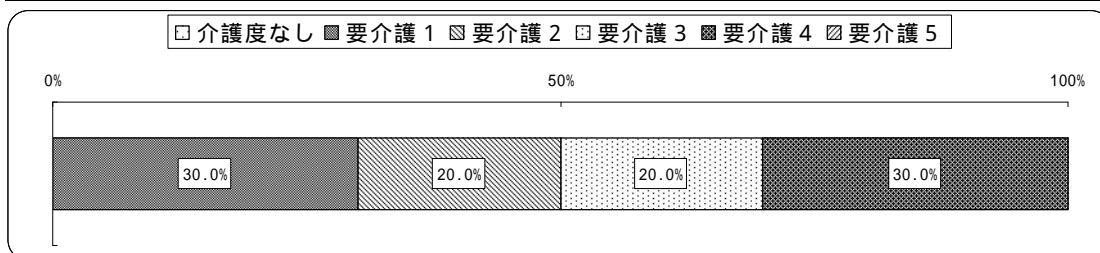
名 称
仙北市介護老人保健施設にしき園
社福法人こまくさ苑介護老人保健施設田沢の郷

空床を短期入所に使用できるため定員未設定

### 介護度別入所状況

(H19.4.1 現在)

介護度なし	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
0人	3人	2人	2人	3人	0人	10人



### (2) 認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）

比較的安定した状態にある認知症の要介護者を対象として、共同生活の中で入浴、排泄、食事等の日常生活上の世話や、機能訓練を提供する認知症高齢者グループホームが設置されています。

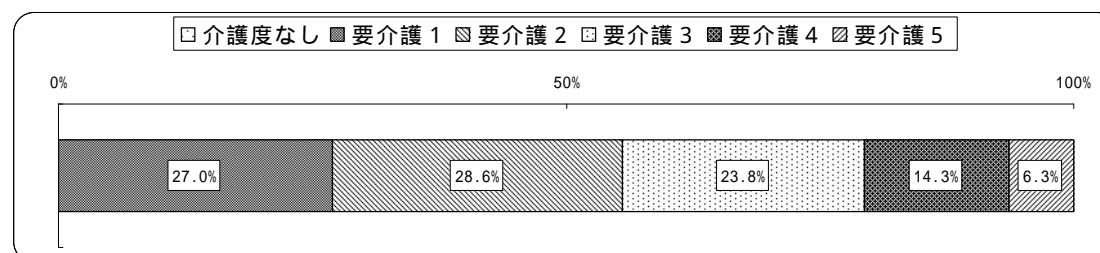
(H19.4.1 現在)

名 称	定員
グループホーム花みずき	9名
グループホームたんぽぽ	9名
グループホーム優優	18名
認知症対応型共同生活介護事業所田沢の家	9名
グループホーム桐花荘	9名
ピアホームかたくりの里	9名

### 介護度別入所状況

(H19.4.1 現在)

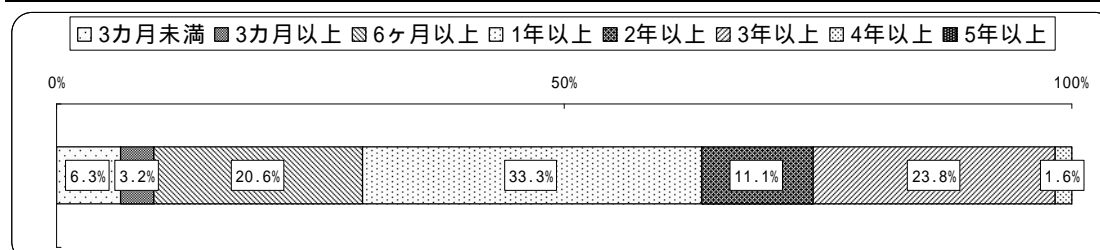
介護度なし	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
0人	17人	18人	15人	9人	4人	63人



### 所在年数別入所状況

(H19.4.1 現在)

3カ月未満	3カ月以上	6ヶ月以上	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	計
4人	2人	13人	21人	7人	15人	1人	0人	63人



### (3) 特定施設入所者生活介護

有料老人ホームに入居している要介護者等に対し、特定施設サービス計画に基づき、入浴、排泄、食事等の介護、生活等に関する相談・援助等の日常生活上の世話や、機能訓練・療養上の世話を行っています。

(H19.4.1 現在)

名 称	定員
有料老人ホームふれあいの家	12名

### (4) ケアハウス

自立している方、もしくは一部の身辺介助について外部からの在宅介護サービスを利用することにより、自立できる方を対象とする施設です。

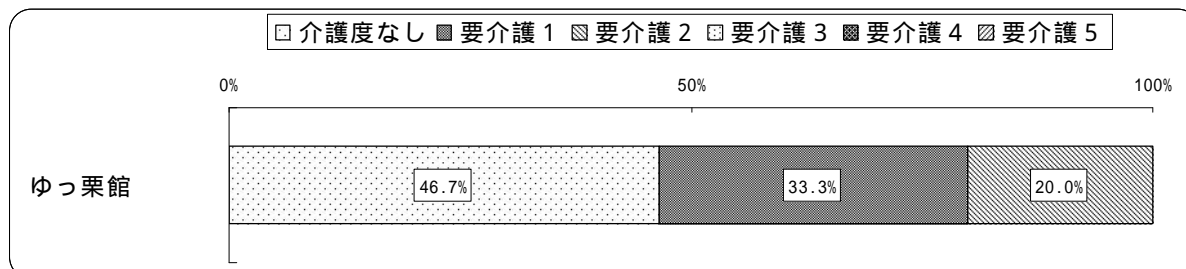
(H19.4.1 現在)

名 称	入所者数
ケアハウス ゆっ栗館	15名

### 介護度別入所状況

(H19.4.1 現在)

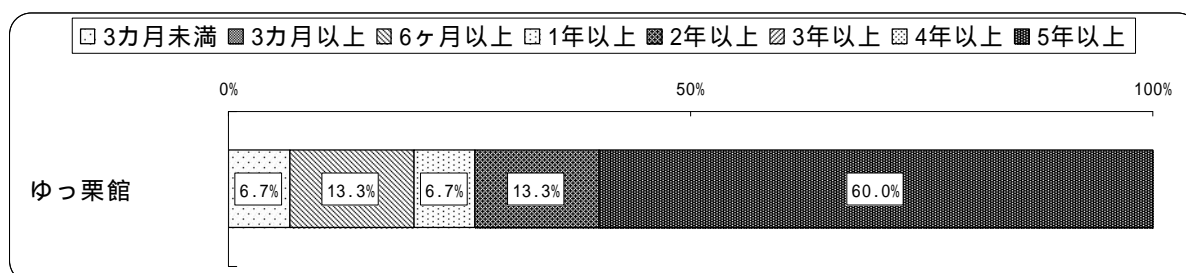
名称	介護度なし	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
ゆっ栗館	7人	5人	3人	0人	0人	0人	15人



### 所在年数別入所状況

(H19.4.1 現在)

名称	3カ月未満	3カ月以上	6ヶ月以上	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	計
ゆっ栗館	1人	0人	2人	1人	2人	0人	0人	9人	15人



### (5) 居宅介護支援事業所

在宅の要介護者等に対し、在宅サービスを適切に利用できるように、居宅介護支援として介護サービス計画の作成、在宅サービス事業との連絡調整や、介護保険施設への紹介等のケアマネジメントを行っています。

(H19.4.1 現在)

名 称	定員
仙北市角館居宅介護支援事業所	150名
仙北市田沢湖居宅介護支援事業所	80名
仙北市社会福祉協議会角館ケアマネステーション	200名
仙北市社会福祉協議会田沢湖ケアマネステーション	180名
仙北市社会福祉協議会西木ケアマネステーション	200名
清流苑居宅介護支援センター	70名
居宅介護支援事業所県南	90名
コミュニティーケアきたうら	35名
居宅介護支援事業所NPOののはな	50名

### 在宅サービス利用状況

(H19.4月の実人数)

		経過 介護	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	不明	合計
認定者		116	36	42	548	303	276	255	223	0	1,799
利用者	総数	60	24	24	315	180	144	115	83	6	951
	男性	11	6	4	75	62	58	42	34	2	294
	(うち2号)	1	0	0	8	2	2	4	6	0	23
	女性	49	18	20	240	118	86	73	49	4	657
	(うち2号)	0	0	1	3	2	0	5	2	1	14
利用率		51.7%	66.7%	57.1%	57.5%	59.4%	52.2%	45.1%	37.2%		52.9%

## (6) 訪問介護事業

在宅の要介護者等に対して、訪問介護員(ホームヘルパー)を派遣し、入浴、排泄、食事等の介護、掃除、調理、洗濯等を支援する訪問介護を行っています。高齢者の増加と多様化したニーズに対応したサービスを行っています。

(H19.4.1現在)

名 称
仙北市社会福祉協議会角館ヘルパーステーション
仙北市社会福祉協議会田沢湖ヘルパーステーション
仙北市社会福祉協議会西木ヘルパーステーション
清流苑ホームヘルプ
県南訪問介護事業所
訪問介護事業所NPOののはな
ほのか訪問介護事業所
たんぼぼ
平和ケアセンター
角館観光タクシー株式会社

## 介護度別利用状況

(H19.4月の実人数)

	経過 介護	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	不明	合計
生活介護	28	9	7	99	40	16	3	1	0	203
身体介護	4	1	0	78	65	35	34	30	2	249

## (7) 訪問入浴介護

要介護者等の家庭を訪問入浴車で訪問し、浴槽を家庭に持ち込んで入浴の介護を行います。利用者の身体の清潔保持と心身機能の維持を図る訪問入浴介護を行っています。

(H19.4.1現在)

名 称
仙北市社会福祉協議会角館訪問入浴ステーション
仙北市社会福祉協議会西木訪問入浴ステーション
県南入浴サービス

## 介護度別利用状況

(H19.4月の実人数)

	経過 介護	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	不明	合計
訪問入浴	0	0	0	0	1	6	21	35	0	63

## (8) 訪問看護

老人訪問看護ステーションや病院、診療所の看護師等により、要介護者の家庭を訪問して病状の観察、褥瘡・点滴管理等の医療処置に係わる援助、機能訓練、体位変換、家族への療養指導等の訪問看護を行っています。

(H19.4.1 現在)

名 称
西木訪問看護ステーション

訪問看護ステーションのみ掲載。医療機関でも行っています。

## 介護度別利用状況

(H19.4月の実人数)

	経過 介護	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	不明	合計
訪問看護	0	1	0	3	3	4	6	23	0	40

## (9) 訪問リハビリテーション

病院、診療所や介護老人保健施設の理学療法士・作業療法士が、症状が安定期にある要介護者の家庭を訪問して、心身の機能の維持回復を図り日常生活の自立を助けるため、計画的、医学的な管理下における理学療法、作業療法等による訪問リハビリテーションを行っています。

(H19.4.1 現在)

名 称
仙北市立田沢湖病院
介護老人保健施設田沢の郷

掲載以外の医療機関・介護老人保健施設でも行っている所があります。

## 介護度別利用状況

(H19.4月の実人数)

	経過 介護	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	不明	合計
訪問リハビリ	0	0	0	1	1	1	2	0	0	5

### (10) 通所介護

要介護者に対し、老人デイサービスセンター等において、入浴、食事の提供、日常動作訓練等のサービスを提供し、心身の機能の維持向上や介護者の身体的、精神的な負担軽減を図るデイサービスを行っています。

(H19.4.1 現在)

名 称	定員
デイサービスさんぽみち	10名
デイサービス若杉	10名
デイサービスセンターあさひ	24名
デイホームたんぽぽ	8名
デイサービス角館さくらさくら	35名
仙北市社会福祉協議会田町デイサービスセンター	10名
デイ・サービスセンターひなた	25名
デイサービスふるさと通所介護事業所	13名
仙北市田沢湖デイサービスセンター	25名
デイサービスセンターNPOののはな	17名
ハッピーデイ西木	30名

### 介護度別利用状況

(H19.4月の実人数)

	経過 介護	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	不明	合計
通所介護	32	11	14	172	93	83	43	5	3	456

### (11) 通所リハビリテーション

介護老人保健施設等において、身体の維持回復を図り日常生活の自立を助けるための理学療法、作業療法等を提供するデイ・ケアを行っています。

(H19.4.1 現在)

名 称
仙北市介護老人保健施設にしき園
介護老人保健施設田沢の郷

### 介護度別利用状況

(H19.4月の実人数)

	経過 介護	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	不明	合計
通所リハ	0	1	1	20	19	11	8	1	0	61

### (12) 福祉用具貸与

身体の機能が低下し日常生活に支障がある要介護者等に対して、日常生活上の便宜や機能訓練に資するため、車イス等の福祉用具の貸与を行っています。

(H19.4.1 現在)

名 称
ケアサポート双葉

## 4. 老人福祉施設等の現状

仙北市には、養護老人ホームが1カ所、特別養護老人がホーム3カ所、老人保健施設が2カ所あります。

### (1) 老人福祉施設（養護老人ホーム）

65歳以上の方で、環境上及び経済的理由から在宅において養護を受けることが困難な方々が入所していますが、高齢化とともに介護が必要な方も入所しています。

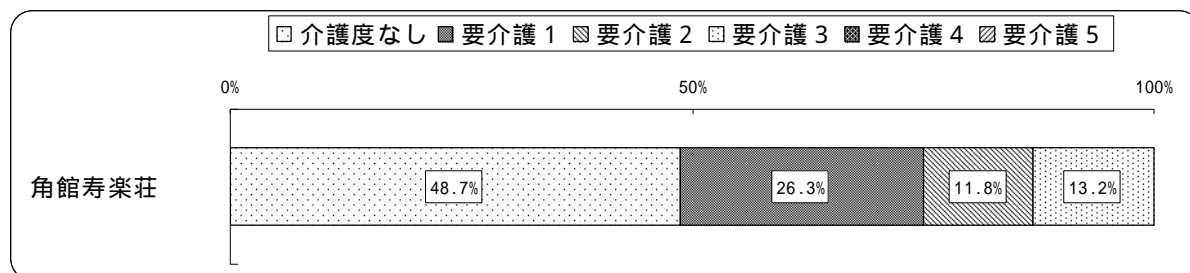
(H19.4.1現在)

名称	定員	入所者数
仙北市養護老人ホーム 角館寿楽荘	80名	76名

### 介護度別入所状況

(H19.4.1現在)

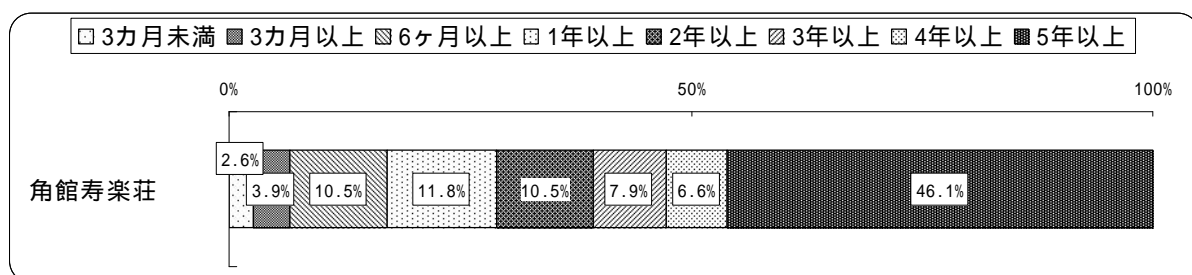
名称	介護度なし	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
角館寿楽荘	37人	20人	9人	10人	0人	0人	76人



### 所在年数別入所状況

(H19.4.1現在)

名称	3カ月未満	3カ月以上	6ヶ月以上	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	計
角館寿楽荘	2人	3人	8人	9人	8人	6人	5人	35人	76人



### 退所の状況

(H18年度中)

自宅	他施設	医療機関	死亡	その他
1人	4人	2人	8人	0人

## (2) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

65歳以上の方で、身体上又は精神上的の障害により常時介護を必要とし、在宅介護が困難な要介護者に対して、施設サービス計画に基づいて、日常生活の世話、機能訓練、療養上の世話などを行っています。

入所にあたっては、施設サービスの必要性が高い（特に、介護度4・5）と認められる方が優先的に入居することができます。

施設の整備状況は、施設定員の割合が国の示す標準量である65歳以上人口のおおむね1.50%に対して本市では1.54%となっており、標準量を超えた整備率となっています。

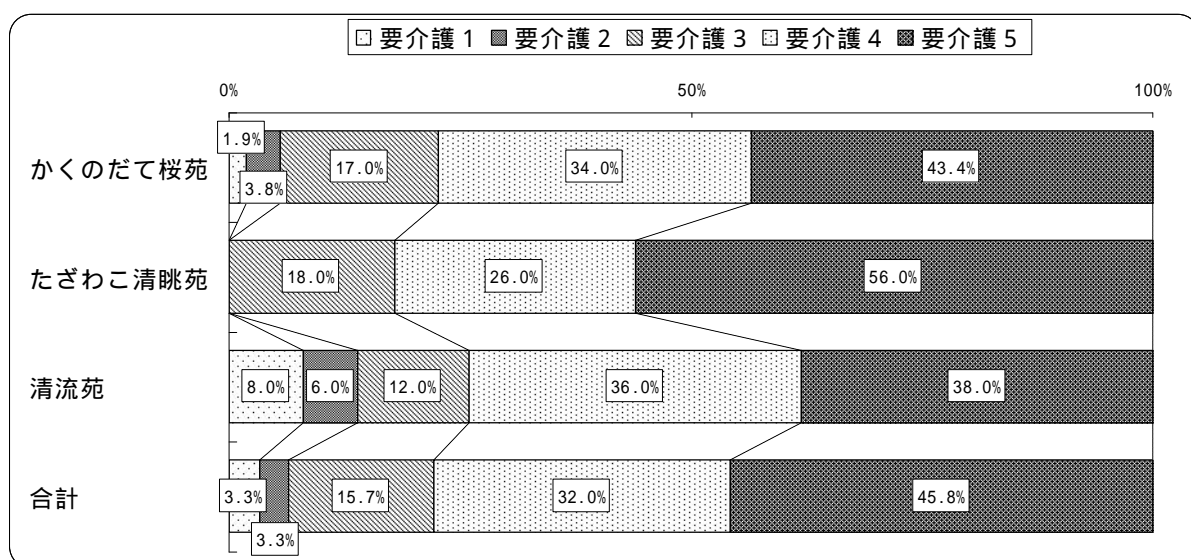
(H19.4.1現在)

名称	定員	入所者数
仙北市特別養護老人ホームかくのだて桜苑	54名	53名
仙北市特別養護老人ホームたざわこ清眺苑	50名	50名
県南ふくし会特別養護老人ホーム清流苑	50名	50名

## 介護度別入所状況

(H19.4.1現在)

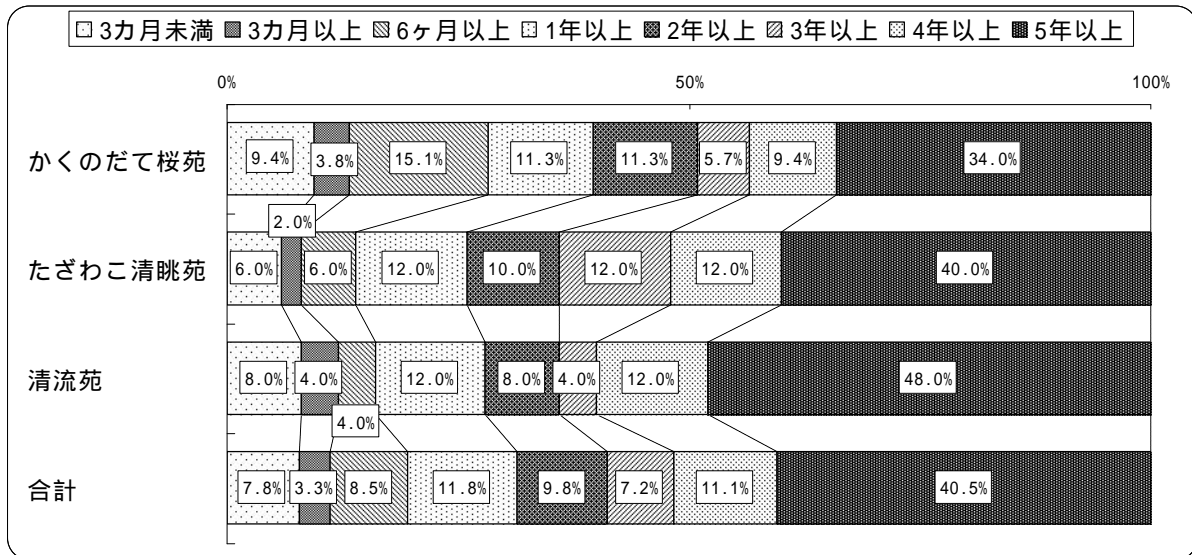
名称	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
かくのだて桜苑	1人	2人	9人	18人	23人	53人
たざわこ清眺苑	0人	0人	9人	13人	28人	50人
清流苑	4人	3人	6人	18人	19人	50人
合計	5人	5人	24人	49人	70人	153人



所在年数別入所状況

(H19.4.1 現在)

名称	3カ月未満	3カ月以上	6ヶ月以上	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	計
かくのだて桜苑	5人	2人	8人	6人	6人	3人	5人	18人	53人
たざわこ清眺苑	3人	1人	3人	6人	5人	6人	6人	20人	50人
清流苑	4人	2人	2人	6人	4人	2人	6人	24人	50人
合計	12人	5人	13人	18人	15人	11人	17人	62人	153人



退所の状況

(H18 年度中)

自宅	他施設	医療機関	死亡	その他
0人	0人	4人	28人	0人

(3) 介護老人保健施設 (老人保健施設)

病状が安定期にある長期療養患者に対し、施設サービス計画に基づいて、看護、医学的管理の下での介護、機能訓練、日常生活上の世話など、在宅生活への復帰を目指したサービスを提供し、在宅での生活が可能かどうかを定期的に検討しています。施設の整備状況は、介護老人福祉施設と同様に、国の示す標準値 1.1% に対し、2.0% となっており、標準値を上回る高い整備率となっています。

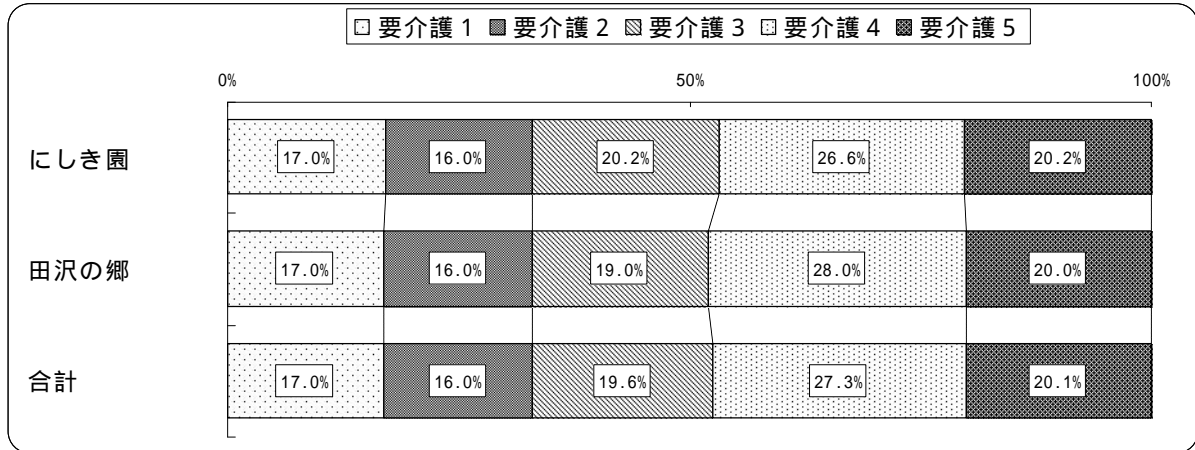
(H19.4.1 現在)

名称	定員	入所者数
仙北市介護老人保健施設にしき園	100名	94名
社福法人こまくさ苑介護老人保健施設田沢の郷	100名	100名

介護度別入所状況

(H19.4.1 現在)

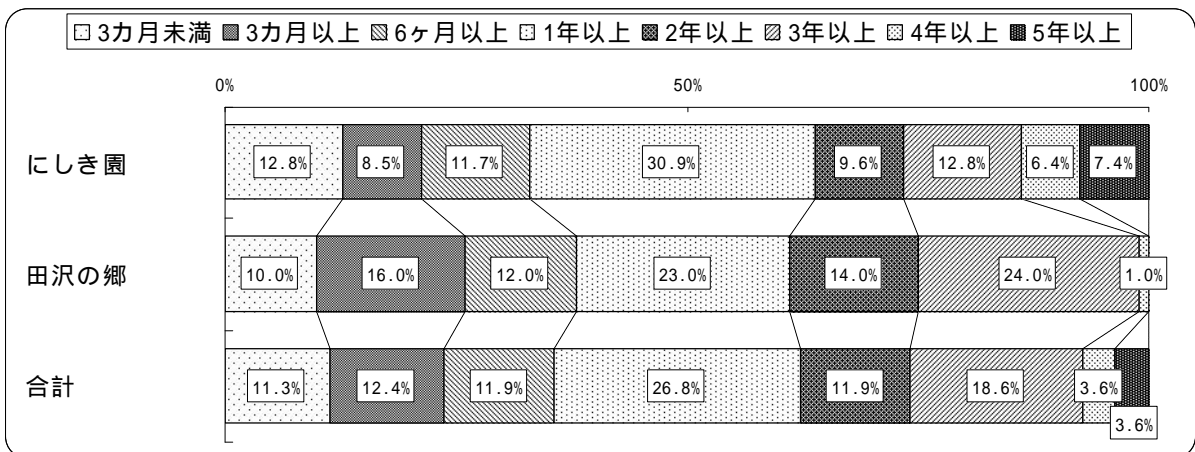
名称	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
にしき園	16 人	15 人	19 人	25 人	19 人	94 人
田沢の郷	17 人	16 人	19 人	28 人	20 人	100 人
合計	33 人	31 人	38 人	53 人	39 人	194 人



所在年数別入所状況

(H19.4.1 現在)

名称	3カ月未満	3カ月以上	6ヶ月以上	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	計
にしき園	12 人	8 人	11 人	29 人	9 人	12 人	6 人	7 人	94 人
田沢の郷	10 人	16 人	12 人	23 人	14 人	24 人	1 人	0 人	100 人
合計	22 人	24 人	23 人	52 人	23 人	36 人	7 人	7 人	194 人



退所の状況

(H18 年度中)

自宅	他施設	医療機関	死亡	その他
9 人	10 人	41 人	3 人	0 人

## 第4章 計画推進の基本数値

### 1. 仙北市の人口推計と高齢者人口

仙北市の総人口は、2007年の31,852人から2015年には28,289人と3,563人減少する一方、高齢者人口は2007年の9,962人から2015年には10,621人と659人増加すると予測しています。

なかでも、前期高齢者人口は2020年の4,918人から2025年には4,065人と853人減少する一方、後期高齢者人口は2020年の5,490人から2025年には5,759人と853人の増加となり、後期高齢者比率も3.4ポイント増の24.7%を予測しています。

高齢者人口における前期高齢者と後期高齢者の割合をみると、2010年から2035年にかけて前期高齢者は41.4%から32.1%と9.3ポイント減少し、後期高齢者が58.6%から67.9%と9.3ポイントの増加が予測されます。

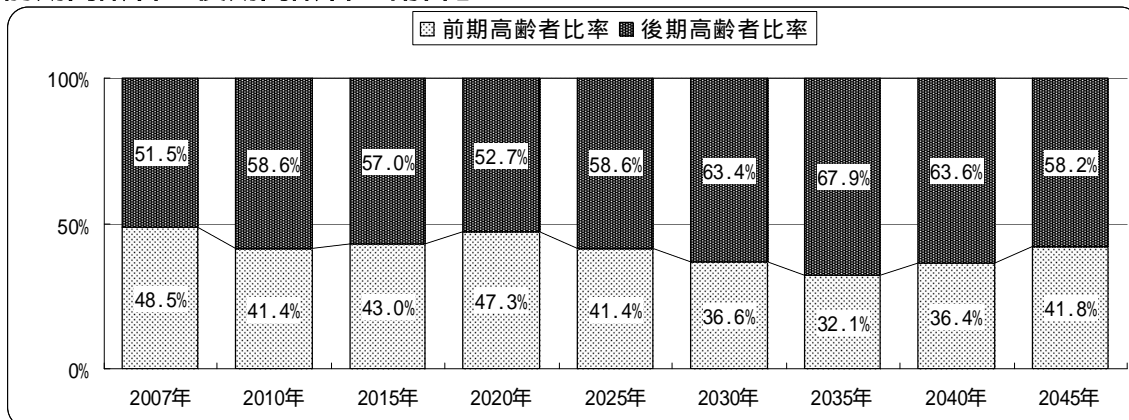
#### 【年齢階級別人口推計】

区分	2007年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
総人口	31,852	30,385	28,289	25,817	23,355	20,982	19,030	16,614	14,513
39歳以下	10,800	9,893	8,555	7,277	6,183	5,339	4,639	4,034	3,557
40～64歳	11,090	10,536	9,112	8,132	7,348	6,719	6,126	5,234	4,328
高齢者人口	9,962	9,957	10,621	10,408	9,824	8,925	8,265	7,348	6,627
前期高齢者	4,828	4,124	4,568	4,918	4,065	3,267	2,652	2,672	2,771
65～69歳	2,288	1,890	2,789	2,289	1,900	1,465	1,263	1,475	1,374
70～74歳	2,540	2,234	1,779	2,629	2,165	1,802	1,389	1,197	1,397
後期高齢者	5,134	5,833	6,053	5,490	5,759	5,658	5,613	4,676	3,856
75～79歳	2,357	2,283	1,995	1,592	2,357	1,951	1,623	1,250	1,077
80～84歳	1,571	1,929	1,895	1,680	1,347	2,003	1,660	1,381	1,062
85歳以上	1,206	1,621	2,163	2,218	2,055	1,704	2,330	2,045	1,717
前期高齢者比率	15.2%	13.6%	16.1%	19.0%	17.4%	15.6%	13.9%	16.1%	19.1%
後期高齢者比率	16.1%	19.2%	21.4%	21.3%	24.7%	27.0%	29.5%	28.1%	26.6%
高齢化率	31.3%	32.8%	37.5%	40.3%	42.1%	42.5%	43.4%	44.2%	45.7%

資料：「都道府県別将来推計人口 平成12(2000)年～平成42(2030)年 平成14年3月推計」

国立社会保障・人口問題研究所編集(平成14年3月推計)を参考に仙北市分を推計

#### 【前期高齢者と後期高齢者の割合】



## 2. 要支援・要介護認定者数の推計

介護保険制度見直しにあたって、地域支援事業及び新予防給付の実施により、介護予防の効果が生じて、要介護認定者数が減少する介護予防の効果を考慮して推計しました。

要介護認定者数は、平成19年が1,711人で平成26年には2,038人と327人の増加が予測されます。

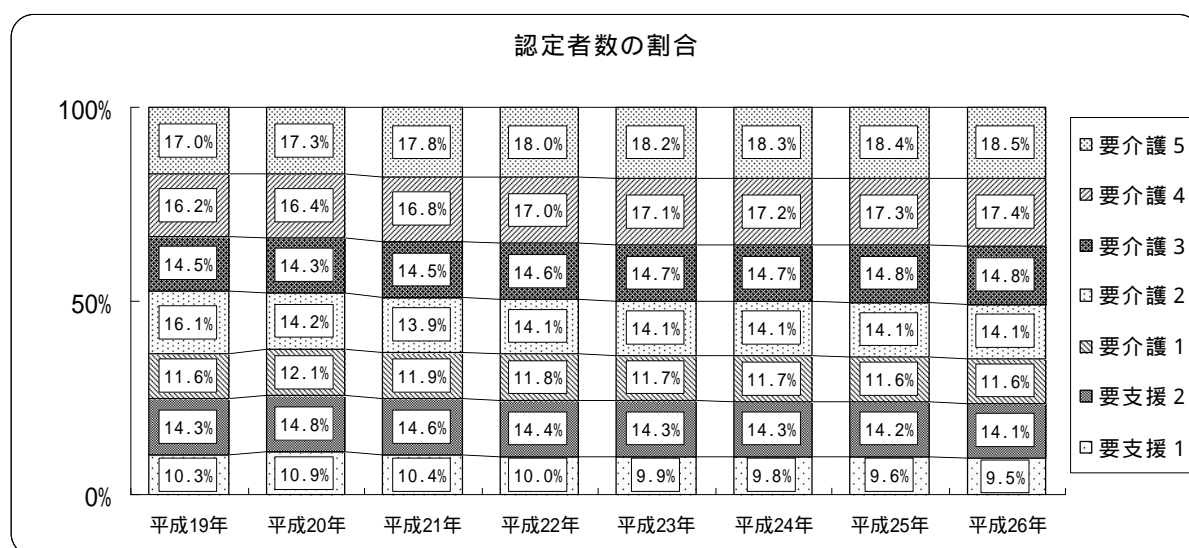
なかでも、要介護4・5の重度認定者は、平成19年から平成26年にかけて168人の増加が予測され、要介護度別の割合をみても同じ傾向となっています。

### 【要支援・要介護認定者数の推計】

(単位：人)

区分	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
要支援1	177	191	183	183	186	190	193	193
要支援2	244	258	256	261	269	277	284	288
要介護1	199	211	210	214	220	227	232	236
要介護2	276	248	245	257	266	274	283	288
要介護3	247	250	256	267	277	286	295	301
要介護4	277	287	296	310	322	334	346	354
要介護5	291	302	314	328	342	355	367	377
合計	1,711	1,747	1,759	1,819	1,882	1,945	2,000	2,038

大曲仙北広域市町村圏組合 第3期介護保険事業計画より仙北市分を算出



### 【自然体と介護予防後の要介護認定者数】

(単位：人)

項目	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
高齢者人口 (第1号被保険者)	9,962	10,116	10,134	10,085	10,021	10,176	10,302	10,475
要支援、要介護1 の認定者数								
(自然体)	656	681	698	717	735	752	767	774
(介護予防後)	620	660	649	658	675	694	709	717
要介護2～5の認 定者数								
(自然体)	1,091	1,136	1,176	1,227	1,273	1,318	1,360	1,392
(介護予防後)	1,091	1,087	1,111	1,162	1,207	1,249	1,291	1,320

大曲仙北広域市町村圏組合 第3期介護保険事業計画より仙北市分を算出

### 3. 施設・居宅系サービス利用者の推計

介護保険3施設（介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設）の利用者数は、平成18年度が1,580人、平成20年度は1,630人と見込んでいます。居住系サービス（認知症対応型共同生活介護・介護専用型特定施設・介護専用型以外特定施設）の利用者数は、平成18年が508人、平成20年は516人と見込んでいます。

施設・居住系サービスの利用者数は平成18年の2,088人から平成20年には2,146人と見込んでいます。

本市の介護保険事業は大曲仙北広域市町村圏組合（大仙市・仙北市・美郷町で構成）で保険者となって運営していることから、サービス利用者の把握・推計・施設整備計画は大曲仙北地区を1つとしておこなっています。

#### 【施設・居住系サービス利用者の推計（大曲仙北全体数）】

（単位：人）

項目	平成18年度	平成19年度	平成20年度
介護老人福祉施設	904	953	953
介護老人保健施設	674	675	675
介護療養型医療施設	2	2	2
3施設合計	1,580	1,630	1,630
認知症対応型共同生活介護	380	361	370
介護専用型特定施設	128	146	146
介護専用型以外特定施設	0	0	0
居住系サービス合計	508	507	516
合計（3施設＋居住系サービス）	2,088	2,137	2,146

大曲仙北広域市町村圏組合 第3期介護保険事業計画より

#### 【介護保険関連施設等（施設・居住系）整備計画】

	平成17年度 末の整備数	平成18年度 計画数	平成19年度 計画数	平成20年度 計画数	3年間の 合計数量	平成20年度 末の整備数
介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	16 (872)		1 (50)		1 (50)	17 (922)
介護老人保健施設 （老人保健施設）	7 (674)				0 (0)	7 (674)
特定施設入居者生活介護 （介護付き有料老人ホーム）	0 (0)	1 (80)			1 (80)	1 (80)
地域密着型サービス						
認知症対応型 共同生活介護	45ユニット (402)	1ユニット (9)	1ユニット (9)		2ユニット (18)	47ユニット (420)
地域密着型特定施設 入居者生活介護 （有料老人ホーム）	0 (0)	5 (48)	1 (29)		6 (77)	6 (77)
地域密着型特定施設 入居者生活介護 （ケアハウス）	0 (0)		1 (15)		1 (15)	1 (15)
小規模多機能型 居宅介護	0	5	3	3	11	11

（ ）内は予定定員

大曲仙北広域市町村圏組合 第3期介護保険事業計画より

## 4. 居宅サービス利用者数の推計

要支援・要介護認定者数から施設・居住サービス利用者を引いた数が居宅サービスの対象者です。居宅サービスの対象者には、サービスを利用していない人も含まれるため、過去の実績をもとに居宅サービスの受給率を推計しました。

### 【居宅サービス対象者数】

	平成18年	平成19年	平成20年
要支援1(旧要支援)	186	177	191
要支援2	0	214	229
要介護1	388	168	180
要介護2	190	196	171
要介護3	147	152	154
要介護4	159	166	174
要介護5	145	151	160
合計	1,215	1,225	1,258

大曲仙北広域市町村圏組合 第3期介護保険事業計画より仙北市分を算出

### 【居宅サービス受給率】

	平成18年	平成19年	平成20年
要支援1(旧要支援)	49.5%	49.5%	49.5%
要支援2	66.3%	66.3%	66.3%
要介護1	66.1%	66.1%	66.1%
要介護2	71.7%	71.7%	71.7%
要介護3	74.6%	74.6%	74.6%
要介護4	74.7%	74.7%	74.7%
要介護5	68.6%	68.6%	68.6%

大曲仙北広域市町村圏組合 第3期介護保険事業計画より

### 【居宅サービス利用者数】

	平成18年	平成19年	平成20年
要支援1(旧要支援)	92	88	94
要支援2	0	142	152
要介護1	256	111	119
要介護2	136	141	122
要介護3	110	114	115
要介護4	119	124	130
要介護5	100	104	110
合計	813	822	842

大曲仙北広域市町村圏組合 第3期介護保険事業計画より仙北市分を算出

【居宅サービスの対象者数】×【居宅サービスの受給率】から【居宅サービス利用者数】の推計をした結果、平成18年が813人、平成20年には842人と推計されており、29人の増加が予測されます。

# 第5章 老人福祉施設整備の課題

## 1. 介護予防を推進するための福祉サービスの課題

仙北市の高齢化率は県内上位にあります。要介護認定者の割合は全高齢者の約18%であり、残り82%の高齢者は介護サービスを必要としない「元気な高齢者」と言えます。この「元気な高齢者」が健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる、明るい活力に満ちた長寿福祉社会としていくためには、高齢者保健福祉の分野におけるサービスの総合的な整備充実を図っていくことが必要です。

効果的に介護予防を実施するため、下記のような生活機能の程度に応じた取組みが進められています。

### 介護予防の3つのステージ

#### 第一次予防

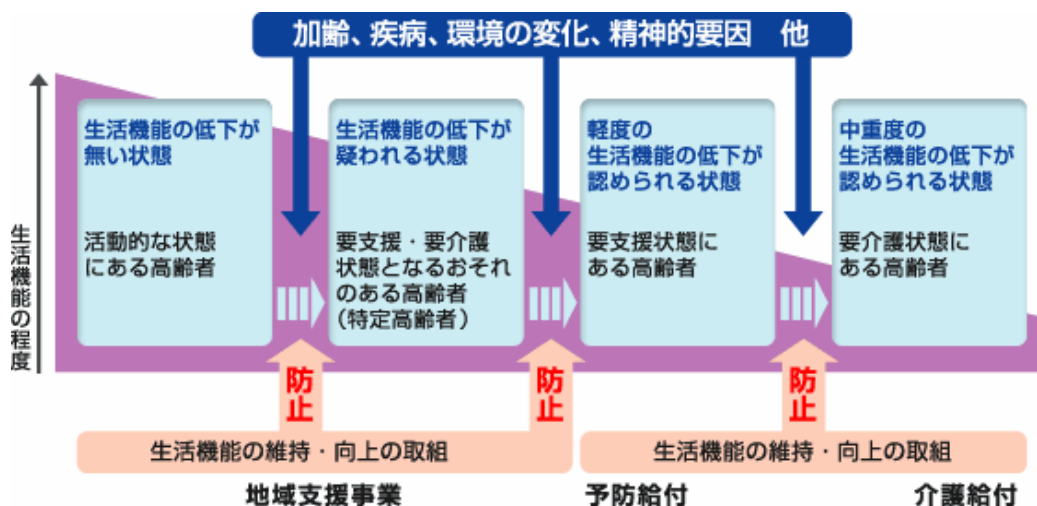
パンフレットの配布や講演会の開催、介護予防手帳の交付などを通じて、活動的な状態にある高齢者を含むすべての高齢者を対象に生活機能の維持・向上を図るものです。

#### 第二次予防

健診や訪問活動等を通じて要介護・要支援になるおそれのある高齢者の早期発見に努め、各種介護予防プログラムの提供による早期対応を行うものです。

#### 第三次予防

要介護認定で「要介護」と判定された方に介護給付によるサービスを提供し、「要支援」と判定された方に予防給付によるサービスを提供し、要支援・要介護状態の改善や重度化予防を行うものです。



自分でできることまでヘルパーさんに頼ってしまうなど、いつも安静にしているような生活を続けていると、使わないことで体が次第に衰えてしまう可能性があります。介護保険における認定において「要支援」と認定された方には、自分で出来ることは自分で行い、介護予防サービスを利用して心身の機能向上をはかり、介護を必要としない自立した生活を目指す必要があります。そこで、仙北市における介護予防においては次のようなことが課題として挙げられます。

## 【PR活動の強化】

---

介護予防に向けて各種事業が行われていますが、事業の内容や活動についてのPRが不足している状況です。

今後は、広報の活用やパンフレット配布により利用者の増加を図り、生活機能の維持向上のため事業を推進していくことが課題となっています。

## 【認知症対応の強化】

---

認知症高齢者が住み慣れた地域で暮らすためには、地域住民の認知症への正しい理解が必要です。誤解や偏見を無くすために家族や地域住民の接し方、かかりつけ医による早期発見・早期診断体制の確立が重要となってきます。

外部サービスの活用や権利擁護（成年後見制度）の取り組みで本人やその家族が安心して生活できる地域づくりが課題となってきます。

## 【見守りサービスを提供する側の確保】

---

住み慣れた自宅や地域において、高齢者が24時間安心して暮らせるように、「安否確認」「緊急時の対応」「生活相談」「配食サービス」などの「見守りサービス」を提供しています。これらの見守りサービスは、介護予防・生活支援の観点からも重要であり、家族、近隣住民、ボランティア、民間事業者、公的機関による提供が望まれます。

過疎化や高齢化により地域での見守りが難しくなっている状況ですが、今後も地域住民と協力しあって見守りサービスの提供体制の整備が課題となってきます。

## 【高齢者の積極的な社会参加】

---

今後、「団塊の世代」が高齢者となり、これまで以上に多様な価値観、経験、能力を持つ元気な高齢者が増加することが予測されます。その知識や経験を活かしたボランティア活動や、文化活動などの幅広い交流を通して、元気に活躍できるよう積極的な社会参加を促すことが重要な課題となってきます。

## 2. 在宅介護を支援するための施設整備

現在の高齢者介護の現状を考えたとき、「施設が満床で施設入所が必要な高齢者の受け入れ先がない」、「自宅で暮らし続けたいという強い願望を持つ高齢者が多数いる」、「経済的に施設入所が難しい」、「在宅介護に自信が無く、出来ないと言う家族」、「老老介護の増加」という課題があげられます。その課題を解決し、身体機能が低下しても、可能な限り地域社会で家族や隣人と暮らしていくことを望んでいる高齢者のために、在宅生活を支援していくための在宅福祉サービス体制の充実が必要です。そのためには、仙北市における在宅介護においては次のようなことが検討課題となってきます。

### 【訪問看護体制の強化】

病院、老人保健施設から在宅へスムーズに移行するためには必要なサービスと考えられます。しかし、地域、季節事情により移動時間がかかることや、利用者減による事業所収益悪化からサービス事業所減少の可能性が考えられます。今後、在宅介護を推進する上では必要とされる、夜間対応型訪問看護を含めた24時間サービスの実現や、必要とされるサービス量が供給できる体制を確保するとともに、地域バランスを図り計画的に訪問看護ステーションを設置することが検討課題となってきます。

### 【地域医療の確保】

在宅で安心して暮らすためには地域医療があるという安心感が不可欠です。しかし、医師不足等からくる総合病院における診療科目の縮小、救急医療体制の不安等、地域医療が抱える課題はたくさんあります。現在、市直営診療所によって地域医療が支えられている面もあり、交通手段の確保を考えると共に、巡回診療所の開設等「地域医療システム」の一部としての整備が課題となってきます。

### 【交通手段の確保】

在宅で老老介護を行っている高齢者は通院手段が少なく、軽度の場合は介護タクシーを利用出来ません。また、市内でも交通手段に地域格差があり、最寄りのバス停までの距離や、駅のホームに上がることが困難な方、さらに、運賃が多額となり負担に感じている方もいます。

安心して在宅で暮らすためには、いつでも気軽に医療を受けられるという安心感が必要であることから、何らかの公的援助が今後必要と思われます。具体的には通院にかかる交通費の補助や、デマンドバスの運行、ボランティアや元気な高齢者による送迎サービスのなどの体制整備が課題となってきます。

### 【利用者負担の軽減】

現在介護保険により、サービス料の1割負担でサービスが利用出来る制度となっています。高額介護サービス費の払い戻しを受けても、その他自己負担額を含めると負担感が大きく、利用者家族の家計を圧迫しています。今後はサービス利用抑制とならないような手立てが検討課題となってきます。

### 3. 施設介護を充実させるための施設整備

#### 介護サービス基盤の整備

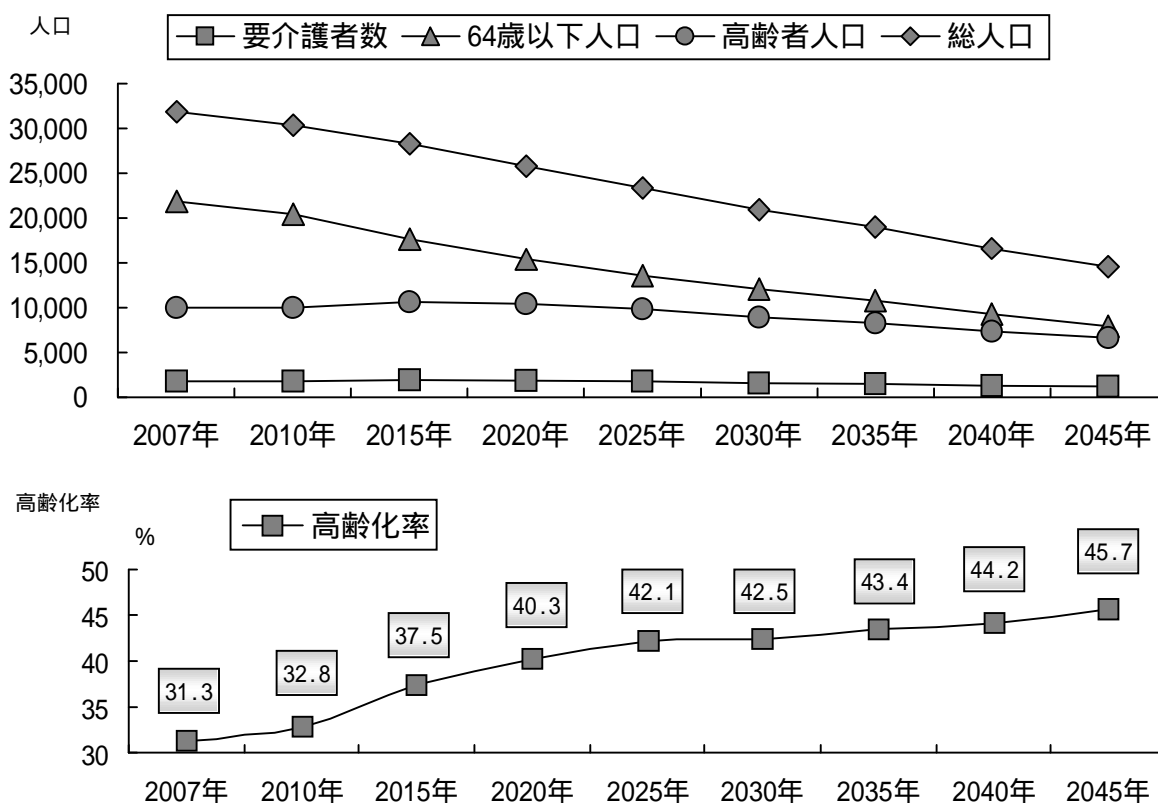
高齢者の多くは、介護が必要な状態となっても住み慣れた家庭や地域社会で暮らしたいと希望しています。しかし、要介護度が高くなれば在宅生活が困難となり、施設入所の必要性が高まってくるので、住み慣れた家庭や地域の延長線上として生活が続けられるような環境整備が必要です。その課題を考える前提として第4章のデータを分析してみると、次のとおりとなります。

#### 【高齢化率の見通し】

人口推計を基にした将来予測から仙北市の高齢化率を考えると、現在 31.5% の高齢化率は 2020 年まで急激に上昇し 40% を越えます。その後ゆるやかに上昇を続け 2045 年には 45% を越える見込みです。

#### 【要介護者数予測】

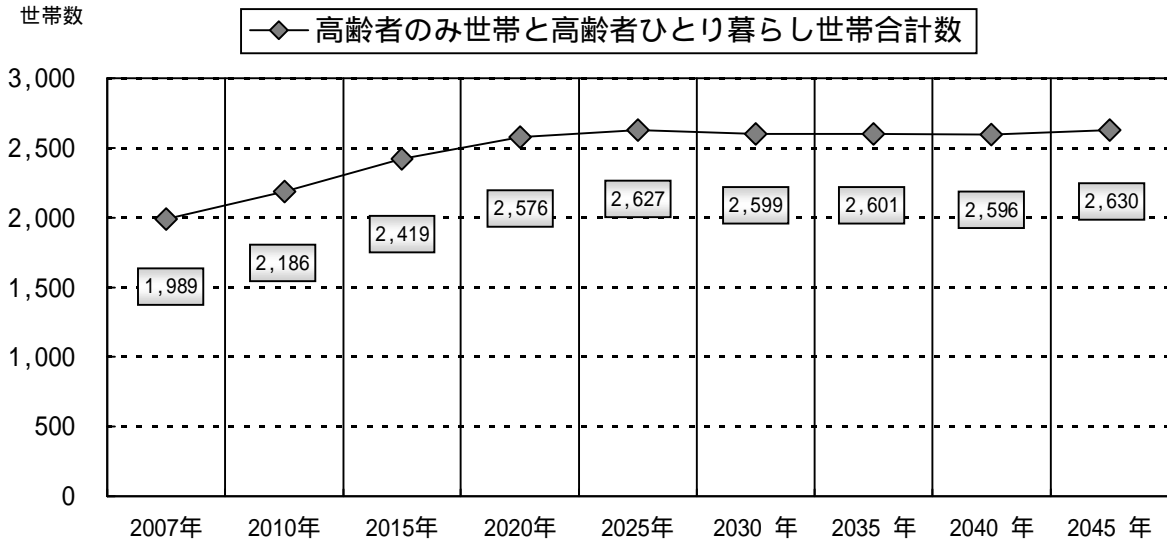
仙北市の要介護者数は、団塊の世代が高齢者になる 2015 年に現在よりも 115 人増加しピークに達するものの、その後は人口減少により高齢化率に反比例して 2045 年には現在の 66% まで減少します。しかし、介護を支えるべき 64 歳以下人口はその頃には現在の 36% と要介護者数の 2 倍の速さで減少することが予測されています。



資料：「都道府県別将来推計人口 平成 12 (2000) 年～平成 42 (2030) 年 平成 14 年 3 月推計」  
国立社会保障・人口問題研究所編集 (平成 14 年 3 月推計) を参考に仙北市分を推計

## 【仙北市の高齢者のみ世帯と高齢者ひとり暮らし世帯数の見通し】

2015年までは年間約40世帯ずつ増加し、最終的には現在より約600世帯多い2,600世帯前後を推移するものと予測されます。



資料：「都道府県別将来推計人口 平成12(2000)年～平成42(2030)年 平成14年3月推計」  
 国立社会保障・人口問題研究所編集(平成14年3月推計)を参考に仙北市分を推計

## 【国が示す施設サービス標準量(仙北市分)】

(単位：人)

	2007年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	現定員
介護老人福祉施設	149	149	159	156	147	134	124	110	99	154
介護老人保健施設	110	110	117	114	108	98	91	81	73	200
合計	349	349	372	363	343	313	290	257	232	429

介護老人福祉施設 : 65歳以上人口のおおむね1.5%

介護老人保健施設 : 65歳以上人口のおおむね1.1%

この数値を基に仙北市における施設介護の必要量を考えた時、要介護者数が増加し2015年にピークを迎えることに合わせて施設を拡充しても、その後要介護者数が減少に転ずることを考えると空床が増えると予想されます。

しかし、仙北市の高齢者単身世帯数の増加が2020年まで続き、その後減少が見込めないことから、要介護者の高齢者全体に占める割合が現在のまま推移した場合、施設への入所希望者数は増加すると考えられます。

施設の種類別に、今後の施設介護ニーズを想定すると、次のようになります。

## 【養護老人ホームについて】

養護老人ホームは、生活環境や経済的に困窮している高齢者を措置する目的の施設で、高齢者人口の減少による影響はないものと予測されます。

市内唯一の施設である角館寿楽荘は、築 35 年経過し老朽化が著しく、バリアフリー化は難しい状況です。

介護が必要な入所者もあり、外部サービスを利用していますが、居住環境や処遇改善を考慮した対策が課題となってきます。

## 【特別養護老人ホームについて】

将来、高齢者「のみ」と「単独」世帯や、家族介護が困難な世帯の増加が予測されます。定員数の半数を超えるぐらいの入所待機者（19 年現在 86 人）がいる現状から、今後も施設入所希望者数は減少しないと予測されます。

当市内には市直営のたざわこ清眺苑、かくのだて桜苑、法人運営の清流苑の 3 施設がありますが、市直営施設には建築から 30 年近く経過している施設もあり、旧基準の多床室主体の居住環境となっています。ユニット型特別養護老人ホームの整備が国の方策として平成 14 年度から進められており、今後老朽施設の改築に当たっては、ユニット化など居住環境や処遇に配慮し、入所者の介護ニーズに対応できるよう整備を進めることが課題となってきます。

老朽化が進んできている施設もあることから、居住環境や処遇改善、入所者の介護ニーズに対応できる対策が課題となってきます。

ユニットケアは現在主流の 4 人部屋の居室を全室個室化し、介護形態においても、施設全体での集団的介護から 10 人程度の小集団（ユニット）化して共用のリビングスペースを設けた少人数のグループでの居宅に近い居住環境でのケア、すなわち、生活単位と介護単位を一致させたケアです。

## 【老人保健施設について】

医療施設を退院後在宅生活に復帰できない、家族介護困難世帯の増加と、医療を必要とする要介護者の施設入所希望者が今後も増加すると予測されます。

定員数の 4 分の 1 を超えるほどの入所待機者（19 年現在 51 人）がいる現状から、今後も施設入所希望者数は減少しないと予測されます。

市内には市直営と法人運営の 2 施設がありますが、医療を必要とする要介護者を自宅で介護することの困難さから一度入所してしまうとなかなか在宅に戻れず、1 年を超える長期入所者が定員の 6 割を超えており、施設の目的である在宅に戻るまでの中間施設としての役割を果たす事が難しくなっています。

本来の中間施設としての役割を果たせるように、在宅願望の強い高齢者を可能な限り、在宅による介護に移行させることが課題となってきます。

## 【将来の施設定員数不足の解消】

---

各施設の整備率は国の示す標準量をクリアしていますが、今後の高齢化率上昇に伴って施設入所希望者が増えることにより、現状のままでは施設入所が困難となることが予想されます。

これを解消するには、

在宅願望の強い高齢者を可能な限り、在宅による介護に移行させ、本来の施設機能を向上させる。

介護に携わることとなる介護者（家族など）に対して介護技術指導を行い、施設から在宅介護へのスムーズな移行を進める。

要介護者の介護度や、家庭環境を考慮し、ヘルパーサービス、訪問看護等の居宅サービス利用による在宅介護を支援する体制整備を進める。

以上のことが課題となってきます。

## 【新たな住まいの一つとして位置付けられている施設の普及・整備促進】

---

年金収入のある団塊世代退職者の増加が今後予測されます。軽費老人ホーム（ケアハウス）や、有料老人ホーム等の特定施設をはじめとする介護付きの施設、あるいはバリアフリーに配慮した外部サービスを活用する高齢者向け専用住宅、共同住宅など従来の生活を継続できるような施設の普及・整備促進が課題となってきます。既存施設（統合後の空き校舎や、空き店舗、空き家）を活用した高齢者向け共同住宅なども検討課題となってきます。

## 【高齢者の生活不安解消と見守り体制整備】

---

冬季間の除雪、雪下ろし作業、火の始末、急病発生時等の心配から一人暮らしや、老人のみ世帯での生活に不安を感じる高齢者、遠く離れ見守り出来ない家族が今後ますます増加するものと考えられます。その解消策として、介護・医療両面の地域サポート拠点としての「見守りステーション」的施設などの整備が必要となってきます。設置運営については、民間、NPO、地域住民、団塊世代退職者、住民ボランティアによるものも想定されることから、公的サポートの充実が課題となってきます。

## 【新たな形態の施設整備】

---

福祉施設イコール高齢者入所施設という考え方から転換し、新たな発想の複合施設として診療所併設型施設や、高齢者が子供との世代間交流が行える共生型サービス拠点として学校（保育所、幼稚園、託児所）併設型施設、空き店舗活用の世代間交流スペースなどの整備が検討課題となってきます。

### 1. 在宅福祉及び施設運営の効率化

地域における過疎化や核家族化、同居する家族の高齢化が進み、今後さらに地域や家庭における扶養や介護機能は低下していくものと考えられます。

しかし、このような状態においても高齢者の多くは、出来るだけ現在の自宅や地域で暮らすことを望んでいます。

また、医療や介護を必要とする状態となっても、住み慣れた自宅や地域で療養したい、介護を受けたいと希望しています。

仙北市では、そのような高齢者の意向を、高齢者の尊厳の保持という観点から最大限尊重し、そのための様々な基盤整備を行う必要があります。

介護サービスは、今後、効果的・効率的なサービス体制を実現していくことが求められており、「人が人に提供するサービスである」という点を大事にし、サービスを提供する人材の確保や、サービスの質を高めるための研修等も必要となります。また、介護する側(家族等)の精神的負担の軽減を支援することも大切で、介護に携わる家族の方々への様々な支援として心のケア・ヘルスチェック・健康相談による疾病予防・介護用品の支給・介護者相互の交流等を行っていきます。在宅介護を円滑に進めるためには、一般の人も含めた地域住民が支え合うインフォーマルサービス(家族や地域住民、ボランティアなどによって行われる相互扶助的なサービス等)の必要性を充分認識し、実践出来るよう推進していきます。

施設サービスは、中・重度者に重点的に対応し、軽度者については、出来るだけ在宅サービスをきめ細かく提供し、生活を支えていくという視点が重要になります。

また、特別養護老人ホーム等の個室・ユニット化などの生活環境の改善を進め、高齢者が尊厳を保ちながら出来るかぎり自立した生活が出来るための施設整備を促進します。

高齢者向け住宅についても多様な住まいの普及促進を進め、高齢者が安全に安心して生活できる環境の整備が急がれます。そのため、高齢者向け賃貸住宅の供給や、公的住宅と福祉施設の一体的整備を積極的に進めていきます。

## 2. 地域の実情にあった在宅福祉及び施設運営等

### (1) 介護予防事業

包括支援センターが中核となり、すべての高齢者を対象に介護予防ケアマネジメント・総合相談・権利擁護・包括的、継続的ケアマネジメント等を実施しています。

介護予防ケアマネジメントは要支援、要介護状態になる前からの一貫性・連続性のある介護予防マネジメント体制を確立し、高齢者の生活を支援するものです。

また、総合相談ではどこに相談してよいか分からない心配ごとや悩みなどの相談を受け付け支援していきます。

また、高齢者権利擁護として、高齢者に対する虐待防止のため、高齢者虐待の早期発見・早期の対応を図るとともに、擁護者（介護者も含む）の支援を行い、その負担の軽減を図るための支援を行っていきます。

さらに、認知症などの理由で判断能力の不十分な高齢者が、悪徳商法の被害にあわないよう、成年後見制度による保護や支援を行っていきます。

今後はこれらの事業をより一層充実させ、より多くの高齢者が元気で充実した生活を営む高齢者福祉社会の実現を推し進めていきます。

### (2) 在宅介護支援事業

在宅介護サービスは、介護を受ける高齢者に対する居住環境の変化が少ないため、精神的なストレスを与えないなど、比較的介護度の低い高齢者に優しいサービスと位置付けられています。在宅介護についての調査結果では、70%近くの方は在宅介護が可能と答えています。また施設入所を希望しない理由として、在宅願望の強い方が65%と多く、住み慣れた自宅での生活の必要性が伺えます。

しかし、実際に介護にあたる家族等の負担は大きく、精神的、経済的負担を軽減するための支援を行う事が急務となっています。仙北市では、介護者の介護技術の習得等のための家族介護教室、介護からの一時的な解放をうけリフレッシュするための家族介護交流事業、また、介護保険の介護給付を1年間受けない方への家族介護慰労事業を行っています。今後も在宅介護を支援していくためにより一層、事業の充実を図っていきます。

### ( 3 ) 施設介護事業

施設介護サービス事業は、入所する要介護者に対して施設サービス計画に基づいて、介護その他日常生活上の世話をを行う施設として位置付けられています。

市が経営している施設では、特別養護老人ホームが昭和 55 年及び昭和 59 年建築、養護老人ホームが昭和 47 年建築で老朽化しており、居住環境も旧基準（平成 13 年度以前）の 2 人部屋・4 人部屋主体であり、入所者の居住環境改善のためにも現基準であるユニット化へ移行するなど、改築需要が高まっています。

しかし、低所得者などの経済的負担が困難な方や地域の実情を考えたとき、多床室のような利用負担額が抑えられる施設を確保しておく事も必要です。

介護保険という新しい制度が始まった平成 1 2 年度当初には制度そのものを公的事業所が率先してきましたが、民間による福祉経営が確立されてきた現在においては先導的な役割は果たしたものと考えられます。

今後は、民間事業者が主導的な役割を担っていくものと期待され、施設民営化等も視野に入れた施設整備を進めていきます。

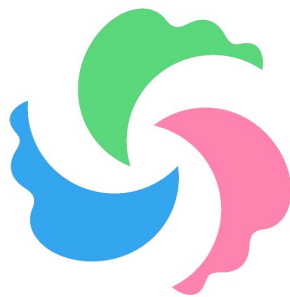


## 老人福祉施設整備計画検討委員名簿

氏 名		所属・役職名	分 野
委員 長	八 柏 龍也	大曲仙北広域市町村圏組合 介護保険運営協議会委員	有識者（民間）
副委員長	高 橋 伸幸	特別養護老人ホーム清流苑 施設長	有識者（施設サービス）
委 員	細 川 道子	仙北市社会福祉協議会 次長	社会福祉団体
委 員	浦 山 久二	仙北市民生委員協議会 会長	民生児童委員
委 員	永 澤 良子	大曲仙北介護支援専門員連絡協議会委員 （ふれあいの家職員）	有識者（居宅サービス）
委 員	藤 井 直樹	大曲仙北広域市町村圏組合 介護保険事務所 副主幹	介護保険者
委 員	倉 橋 典夫	総務部次長兼企画政策課長	行政 仙北市企画政策担当
委 員	橋 本 勲	保健課長	行政 仙北市保健担当
委 員	下 総 芳則	福祉事務所長	行政 仙北市福祉担当

## 老人福祉施設整備計画作業部会委員名簿

氏 名		所 属	部 門
委 員	田 口 俊一	介護老人保健施設にしき園	施 設 部 門
委 員	田 代 政彦	特別養護老人ホームたざわこ清眺苑	
委 員	上 藤 睦美	特別養護老人ホームかくのだて桜苑	
委 員	宮 田 富美子	養護老人ホーム寿楽荘	
委 員	藤 村 好正	企画政策課	
委 員	石 崎 多代子	角館在宅介護支援センター	在 宅 ・ 通 所 部 門 （介護保険外含む）
委 員	草 薨 照美	田沢湖在宅介護支援センター	
委 員	中 田 一美	西木在宅介護支援センター	
委 員	大 石 好子	仙北市包括支援センター	
委 員	渡 邊 朝子	仙北市社会福祉協議会	



## 仙北市老人福祉施設整備計画

～ 安心して暮らせる環境づくり ～

平成20年2月

発行 秋田県仙北市

編集 〒014-0592 仙北市西木町上荒井字古堀田47番地  
仙北市福祉事務所 長寿子育て課 長寿いきがい係  
Tel 0187-43-2281 Fax 0187-47-2116